

## SS 科学基礎「日光戦場ヶ原自然探究活動」

SS 科学基礎は、「先端科学講座」、「先端科学体験」、「自然探究活動」のプログラムを通して、基本的な科学を理解し、科学の楽しさを学びます。

「自然探究活動」では、日光戦場ヶ原およびその周辺の自然探究を行います。日光戦場ヶ原における環境問題として、「草原化」、「シカによる植物群落の食害」の実態を観察し、環境保全についての考察を行います。



平成24年7月19日(木)に「自然探究活動」として1年生全9クラスで日光戦場ヶ原に出かけました。8時30分にバス7台で学校を出発し、およそ75分で日光湯元ビジターセンターに到着しました。宇都宮はとても暑かったのですが、戦場ヶ原では涼しい風が吹いていました。





ビジターセンターからは13班に分かれ、「日光湯元ビジターセンター」と「日光インタープリター倶楽部（NIC）」の方々のガイドで、湯ノ湖、湯滝、戦場ヶ原、赤沼を自然探究しながら歩きました。



シラカバ



クマザサ



ミズナラの葉



ガイドの方々が大変親切に植物や野鳥について説明してくださったおかげで、それらの名前や特徴を覚えることができました。



湯ノ湖では、5月から9月にかけて、カワマス、ヒメマス、ホンマス、ニジマスが釣れるそうです。



林の中を歩いていると、ヒカリゴケがありました。  
ヒカリゴケは、ヒカリゴケ科ヒカリゴケ属のコケで、1科1属1種の原始的かつ貴重なコケ植物です。



上から見た湯滝と周りの風景です。



コメツツジ（ツツジ科）  
枝先に雄しべの突きでた白い小さな花が咲きます。  
花期：6月～8月

湯ノ湖（海拔 1,475m）湖尻より連山を望めます。  
この湖は三ッ岳の噴火により、溶岩で湯川が堰き止められてできました。  
湯滝から流れ出る豊富な水の約 90%が、湖底や湖の周辺から湧き出る水だそうです。



下から見た湯滝と周りの様子です。



湯滝の近くで弁当を食べました。マイナスイオンの中で食べる弁当は、いつもよりもおいしく感じました。天候に恵まれて本当に良かったです。



日光では 1984 年以降シカが増加し、戦場ヶ原もシカによって花がだんだん減り、2000 年頃には「戦場ヶ原から彩りがなくなった」とまで言われました。戦場ヶ原の湿原植生が悪くなる一方であったため、2001 年～2002 年の冬に、環境省が林野庁と二荒山神社の協力を得て、「シカ侵入防止柵」を作ったそうです。



湯ノ湖，泉門池，赤い川など，途中 10 か所で水質検査用の水を採取するため学校から 20 本のペットボトルを持参し，各班で割り当てられたところで採取しました。泉門池では地面がぬかるんでいて，水を採取するのに苦労しましたが，なんとか水を持ち帰ることができました。持ち帰ってきた水は学校で水質検査を行いました。

今回、日光戦場ヶ原の自然について勉強することができましたので、この経験を活かして、これからはより詳しく日光の環境について勉強していきたいと思います。